

「セーフ・フロム・ハーム」登録前研修
2020テキスト版



はじめに

2017年8月に開催された第41回世界スカウト会議において、「セーフ・フロム・ハーム世界方針」が採択されました。この方針では、各国スカウト連盟に対して、スカウトたちの安全を確保できる政策や施策を実行することを強く推奨し、「セーフ・フロム・ハーム」を展開する上で、以下の3つの側面での実行を必要としています。

1. プログラムとしてスカウトに自信を持たせ、自尊心を大切にできるようにすること。
2. すべての成人がこの分野の理解と実行ができるようにすること。
3. 組織として、危機管理という側面から対応すること。

2015年に制定した「セーフ・フロム・ハーム」ガイドラインをご覧くださいとわかりますが、「セーフ・フロム・ハーム」は、特別なことではありません。人権を尊重するということであり、人として守るべき社会ルールやマナーです。決して、日々の活動に制約を加えるものではありません。危険や危害となるものからの保護、抑止、あるいは防止につながるものです。しかしながら、危険や危害をなくすためには、一部の人だけが取り組むのではなく、この運動に関わるすべての人がこれを実行することが必要です。一人ひとりの行動はもちろん大切ですが、同時に組織としての取り組みが大切です。

各指導者においては、「セーフ・フロム・ハーム」の趣旨をご理解いただき、取り組んでいただきますようお願いいたします。

登録前研修

加盟登録を行う隊指導者や団委員、役員等の全指導者とローバースカウトは、登録手続き前にセーフ・フロム・ハーム研修が必須となります。また、本研修は年度途中から登録をする指導者も、手続き完了前にこの研修を受講していただくこととなります。

登録前研修には二通りの方法があり、日本連盟ホームページの特設ページ内の、eラーニング（インターネットを利用した学習形態）による方法と、インターネット環境がないなどオンラインの受講が難しい方のために、同じ内容による書類(本書)を使って行う学習があります。

研修の方法と内容は次ページの「イントロダクション」からお読みいただき、学習を進めてください。

イントロダクション（導入）

1. 登録前研修の目標

この「セーフ・フロム・ハーム」登録前研修は、「思いやりの心を育む教育」を指導者が理解し、スカウト運動の質の向上を図り、より「安全で安心できるスカウト活動」を実現するものです。

2. 登録前研修の概要

「セーフ・フロム・ハーム」登録前研修を通じて、危害を予防するため、また、思いやりの心を育むための知識・方法を身につけることができます。指導者登録にあたっては、eラーニングまたはテキストでの研修に取り組まなければなりません。

3. 登録前研修について

登録前研修を修了し、「セーフ・フロム・ハーム」について理解し同意したら、最後に「確認と同意」のサイン署名をします。

サインをした同意書を所属する団の団委員長へ提出します。

※登録前研修の修了が確認できないと、**新規登録及び継続登録**ができません。

※団委員長は、全指導者の登録前研修が修了していることを確認してください。

4. 研修の構成と内容

この研修は3つの段階になっています。それをステップといいます。各ステップの終わりに、理解を深めるための簡単な確認テストがあり、それぞれのステップが完了しない限り、次のステップに進めません。ステップは以下の項目に分かれています。

ステップ1 ⇒ セーフ・フロム・ハームの自己評価

↓

テスト

↓

ステップ2 ⇒ セーフ・フロム・ハームの取り組みとそのポイント

↓

テスト

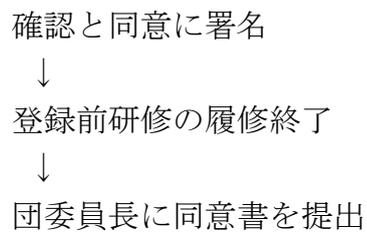
↓

ステップ3 ⇒ セーフ・フロム・ハーム重要事項のまとめ

↓

テスト

↓



5. 研修の進め方

この登録前研修（テキスト版）は、インターネット環境にない方を対象としていますが、個人で取り組むだけではなく、団内の会合などにおいて相互に確認し、理解を深めながら取り組んでいただくこともできます。

次ページよりステップー1【セーフ・フロム・ハームの自己評価】を始めます。

ステップ1 【「セーフ・フロム・ハーム」の自己評価】

自身の「セーフ・フロム・ハーム」について評価をしましょう。

次の「セーフ・フロム・ハーム」自己チェックシートの8つの項目について該当する場合は、チェック欄にチェックを付けてください。

No.	内容	チェック欄
1	日常生活で、ハームの防止に心掛けています	
2	「セーフ・フロム・ハーム」のセミナーを受講し、自己研鑽に努めています	
3	WOSMの「セーフ・フロム・ハーム世界方針」を読んだことがあります	
4	スカウトに対して、性別や年齢、それぞれの個性に配慮した接し方をしています	
5	良き社会人として、ルールやマナーを守っています	
6	スカウトに対して、感情的にならず思いやりの心をもって指導しています	
7	日本連盟に相談窓口が設置されていることを知っています	
8	「セーフ・フロム・ハーム」は指導者のものだけではないことを知っています	

現在の自己評価となりますので、全ての項目にチェックがつかなくても構いません。

いかがでしたでしょうか。このように自分自身を常に評価し、「セーフ・フロム・ハーム」への取り組みをより一層推進していただきたいと思います。

○ステップ-1を終えるにあたり

ステップ-1【「セーフ・フロム・ハーム」の自己評価】の学習は終わりました。
次の3つの問題に取り組んでください。回答は、回答欄に○×で記入してください。

◇問題-1

日常生活で、ハームの防止に心掛けます

回答：_____

◇問題-2

スカウトに対しては、性別や年齢、それぞれの個性に配慮した
接し方をする必要はありません

回答：_____

◇問題-3

スカウトへ対しては、感情的にならず思いやりの心をもって指
導します

回答：_____

ステップ-1は終了です。次ページのステップ-2に進んでください。

ステップ2【セーフ・フロム・ハームの取り組みとそのポイント】

このステップでは「セーフ・フロム・ハーム」の取り組みについて学びます。

- 1 バディルール
- 2 「思いやりの心ってなあに」
- 3 「セーフ・フロム・ハーム世界方針」
- 4 「セーフ・フロム・ハーム県連盟ガイドライン」
- 5 日本連盟相談窓口

1. バディルール

日本連盟では安全で安心な活動をするため、指導者バディルールを実践しています。

指導者バディルールのポイント

バディルールは、複数の指導者でスカウトの安全を守り、安心した活動を提供することです。

2. 「思いやりの心ってなあに」

多くの保護者は、わが子に「スカウト活動を通じて思いやりの心を持った人になってほしい！」と願っているのではないのでしょうか

人を思いやるには、「相手がどのような気持ちか」を考える力、共感できる力が必要です

思いやりの心を育む教育 セーフ・フロム・ハーム

- 思いやりとは、優しさ
- 思いやりとは、他人の立場になって考える心
- 思いやりとは、他人を大事にする心



思いやりの心を持った人
やさしい人



日本連盟では思いやりの心を育む教育のための資料として、ビーバースカウト・カブスカウト向け教材「思いやりの心ってなあに」を作成し、全団に向けて配布しました。

ここで教材の一つに実際に取り組んでみましょう。絵とストーリーを読んで、問いかけについて考えてみてください。また自分が指導者としてスカウトたちに話す時、どのような話し方・態度で接すれば良いか考えてみてください。

「ウサギとリンゴの木」



フクロウがとまるリンゴの木の下に、クマ、シカ、リス、ウサギが集まりました。ウサギは、途中の八百屋さんでリンゴをひとつ買ってきました。みんなでわけて、おやつにしたかったのです。

5つに分けたら、おやおや？

体の大きなクマには小さすぎて「もう少し食べたいな！」

体の小さなリスには大きすぎて「おなかがいっぱいだ！」

そこでフクロウが言いました。

「もうすぐこの木のリンゴが大きくなるよ。ぼくはみんなにプレゼントしたくて、この木を大切に育てているんだよ。」

それを聞いたみんなは、とっでもうれしくて、おいしいリンゴを想像しながら、フクロウといっしょにリンゴの木のお世話をしました。

問いかけ

- ・ウサギが八百屋さんで買ってきたひとつのリンゴをどのように分けると良いでしょうか？
- ・フクロウは、時間をかけてリンゴの木を育てて、どうして友達みんなにプレゼントしようと思ったのでしょうか？

学びのヒント

- ・一人ひとり、体の大きさも考え方もいろいろであることに気づかせる。
- ・みんなが仲良くするためには、相手の気持ちを考える「思いやりの心」が大切なこ

とに気づかせる。

- ・一人ひとは、体の大きさも考え方もいろいろで、それでいいのだということに気づかせる。
- ・自分がうれしいことは、みんなの「うれしい」にも、なることを知らせる。

いかがでしたでしょうか。大人でも十分に考えさせられる内容ではないでしょうか。この取り組みの重要な点は、スカウト一人ひとりの意見を尊重し、否定しないということです。なぜそう感じたのか、どうしてそう思うのかを引き出していくことが必要です。この時、指導者の思いや考えの押し付けにならないよう、介入や誘導に気をつけてください。

3. セーフ・フロム・ハーム世界方針



世界スカウト機構では「セーフ・フロム・ハーム世界方針」を推進しています。日本連盟ではこの方針に基づいて、様々な施策を講じています。

「セーフ・フロム・ハーム世界方針」は日本語翻訳されています。

日本連盟ホームページでご確認ください。

4. セーフ・フロム・ハーム県連盟ガイドライン



日本連盟では各県連盟での具体的な運用や対応方法についてまとめた「セーフ・フロム・ハーム県連盟対応ガイドライン」を作成しました。

このガイドラインはホームページ上で公開し、あらゆる人が閲覧することができます。

スカウト教育の質の向上を目指して、各県連盟が具体的な運用や対応方法を明確にするために本書を作成しました。

セーフ・フロム・ハーム問題は、

適切な対応が遅れると事態が大きくなる
事実を隠そうとすると不信感が高まる
不誠実な対応は、対立を深刻にする

5. 日本連盟相談窓口

日本連盟では、スカウト活動を行う者の権利・利益を保護し、安心安全な環境の下でスカウト活動を行う機会を確保するために通報相談窓口を設置しています。

スカウト活動における危害行為

- ・パワーハラスメント
- ・セクシャルハラスメント
- ・その他の組織または個人の不当行為など

早期発見・再発の防止に努めます。

自らが当事者となり、他の人に相談しづらい内容などがある場合の相談も受け付けます。

相談窓口

利用者：本連盟の加盟員ならびにスカウトの保護者

相談窓口

開設時間：月曜・木曜 12時から19時

電話：03-6913-6277

e-mail：sfh@scout.or.jp

窓口への連絡先は、登録証にも記載されています。

最新の情報は日本連盟ホームページをご確認ください。

○ステップ-2を終えるにあたり

ステップ-2【セーフロム・ハームの取り組みとそのポイント】の学習は終わりました。

次の3つの問題に取り組んでください。回答は、回答欄に○×で記入してください。

◇問題-1

セーフ・フロム・ハーム県連盟対応ガイドラインは、誰でも見ることができるようホームページで公開しています

回答：_____

◇問題-2

BVS&CS 向け教材「思いやりの心ってなあに」を使用する際は、指導者の思いや考えを押し付けて構いません

回答：_____

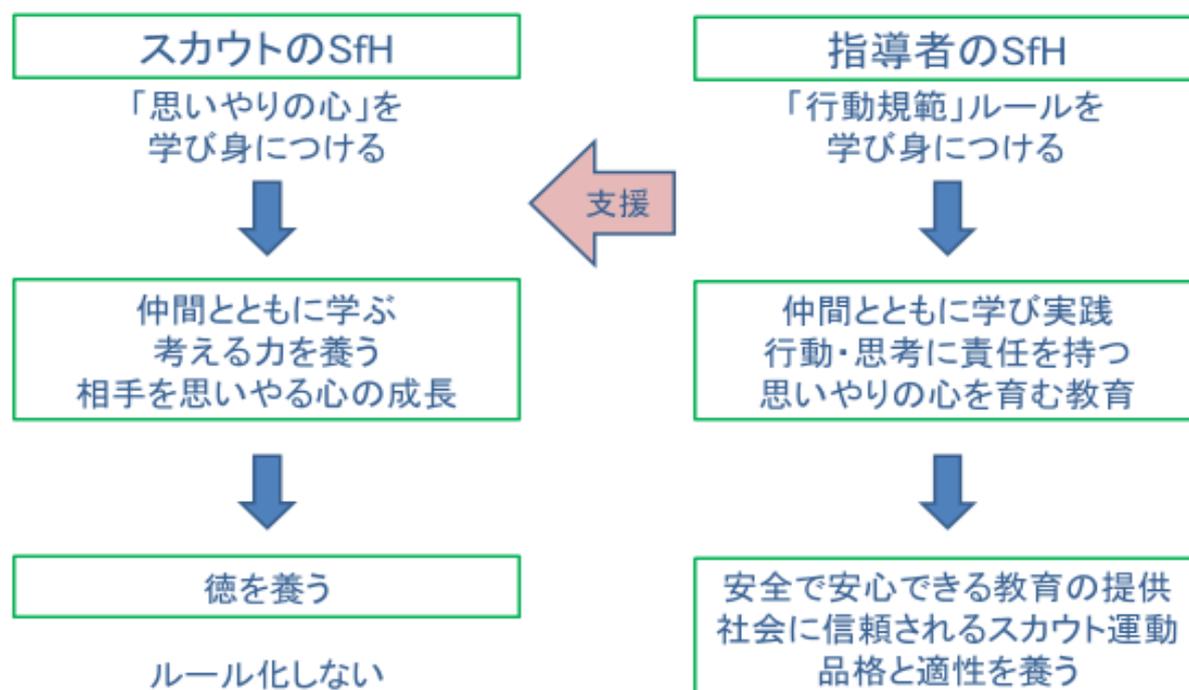
◇問題-3

日本連盟が設置する相談窓口の利用者は、本連盟の加盟員に限られます

回答：_____

ステップ-2は終了です。次ページのステップ-3に進んでください。

ステップ3 【セーフ・フロム・ハーム重要事項のまとめ】



- 「セーフ・フロム・ハーム」はスカウト運動の質の向上を目指します
 - ・「セーフ・フロム・ハーム」とは「スカウト活動において、スカウトや関係者、自分自身をさまざまな危害から守り、常に安全な状態にいる」ことです
 - ・スカウトや指導者からの信頼が向上するとともに指導者自身の意識の向上が図れ、スカウト運動の地域社会からの信頼がさらに高まります
 - ・相談窓口の設置によりコンプライアンスの向上とともに、活動実態の可視化につながります
 - ・これらの推進することにより「スカウト運動の質の向上」を目指します。
- ガイドラインを遵守し、社会の変化に対応します
 - ・すべての人の尊厳を尊重する
 - ・すべての成人・青少年を平等に扱う
 - ・相手の嫌がることは、自分が善意のつもりであっても行わない
 - ・すべての人に対し、脅威を与えたり脅威を感じさせたりする言葉を言わない
 - ・どのような悩みにも親身になって相談にのり、対応する
 - ・ウェブサイトは誰でも見られることを意識して内容を選ぶ
 - ・活動中にスカウトの前で喫煙はしない
 - ・スカウト活動中は飲酒をしない
 - ・安全で安心できるスカウト活動のために指導者は複数で活動を行う

● **セーフ・フロム・ハームへの対処に責任を持ちます**

- ・問題発生時の対応は、場当たりの対応にならぬよう、常に準備をします
- ・被害者、加害者共に公平な視点に立って傾聴の姿勢で話を聞きます
- ・無理な要求には曖昧な返事をせず、きっぱりと断ります
- ・団内などで対応が難しい場合は、日本連盟の相談窓口を利用します

「スカウトが笑顔になる活動」を担うのは指導者

- **安全で安心できる活動で保護者の信頼**
- **事故・事件の無い活動で、社会の信頼**
- **バディルールでスカウトを守る**
- **悪いことは悪いといえる雰囲気づくり**

これでステップ3は終わりです。次のページの問題に答え全問正解したら確認と同意に進んでください。

○ステップ-3を終えるにあたり

ステップ-3 **【セーフ・フロム・ハーム重要事項のまとめ】** の学習は終わりました。

次の3つの問題に取り組んでください。回答は、回答欄に○×で記入してください。

◇問題-1

「セーフ・フロム・ハーム」はスカウト運動の質の向上を目指して導入しています

回答： _____

◇問題-2

スカウト活動中は、スカウトが就寝するなどして大人だけになっても飲酒をしません

回答： _____

◇問題-3

指導者は自分の経験と勘だけでスカウトを指導すれば問題ありません

回答： _____

ステップ-3は終了です。次ページの確認と同意へ進んでください。



セーフ・フロム・ハームの確認と同意

私はスカウト運動の指導者として、スカウトと自分自身の保護のためにセーフ・フロム・ハームについて理解し、以下の項目の確認と同意をします。

記入方法：

- ① 各項目を読んで同意できたら□にレ点を入れてください。
- ② 本書への確認と同意をもって、登録前研修の修了といたします。確認日、氏名を記入の上、所属する団、地区、または（県）連盟に提出してください。

確認と同意事項：

1. すべての人の尊厳を尊重します。
2. いかなるときもスカウトに、体罰を与えることはしません。
3. すべての成人・青少年を平等に扱います。
4. 相手の嫌がることは、自分では善意と思っても行いません。
5. すべての人に脅威を与えたり、感じさせたりする言葉を使いません。
6. スカウトと共に行動しているときは、絶対に飲酒はしません。
7. スカウトの前で喫煙はしません。また、受動喫煙にも注意します。
8. セーフ・フロム・ハームに関する問題が発生したら、速やかに対応をします。

確認日： _____年 _____月 _____日

署名： _____

(役務： _____)